取扱説明書 診断サービスのご案内

株式会社ダイテック

リスクの可視化
あるべき姿と現状のギャップを把握して
アクションプランへとつなぐ！

国際規格への対応や製造物責任の対策、お客さまとのトラブル（クレームや訴訟）リスクを削減したり、商品の取扱説明書の整備は重要な経営課題となっています。

▶サービスの内容

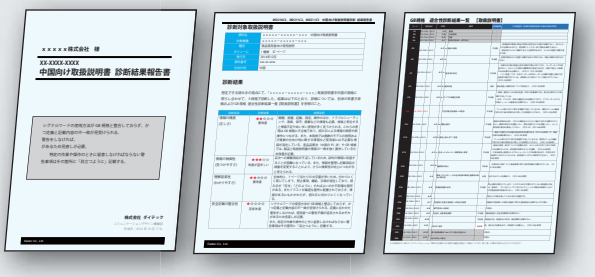
取扱説明書の診断サービスは、製造物責任（PL）訴訟や海外取引を行う上でのリスクを明確にすることで、リスク最小化のための行動計画を立案できるように支援することを目的としています。このサービスには、次のようなメリットがあります。

現状把握	国際規格と照合し、現状の取扱説明書の問題点（リスク）が可視化される。
目標設定	国際規格の要求事項を理解し、自社が目指す取説の姿が明確になる。
改善実施	具体的な改善計画を立てて取扱説明書を改善することで、リスクを最小化することができる。

▶サービスの料金

取説ホットライン契約で 20% OFF

診断	取扱説明書に関連する国際規格 (ISO ／ IEC)、アメリカ（ANSI）や中国国家規格（GB）などを元に開発した、当社の評価基準に基づいて診断します。	**1 万円 × ページ数**
報告	以下の診断結果レポート（PDF）をご提出します。 ▶ 規格不適合箇所と不適合理由 ▶ 改善ポイントの助言（取説への朱書き） 不適合箇所は項目ごとに 3 箇所程度の指摘となります。	**一式：8 万円** 貴社を訪問しての報告の場合は、別途旅費をいただきます。



・和文の取扱説明書（PDF）に合わせて商品カタログとリスクアセスメント情報をご提供ください。
・診断対象が英文または中文の場合は、診断費用が 1.2 万円となります。

お問合せ先
株式会社ダイテック
コミュニケーションデザイン事業部
電話：(03)5256-1733　メール：j.yamaguchi@daitecjp.com

社員研修「伝わる」取扱説明書の作り方セミナー

株式会社ダイテック

企業防御のツール ×“攻め”の ブランディングツールとして取扱説明書を！

国際規格への対応や製造物責任の対策、クレームや訴訟リスク削減といった守りだけでなく、顧客接点のひとつとしてブランド向上を目指した”攻め”の扱説明書整備を目指しませんか？

▶セミナー概要 - 5 時間＋質疑応答

グローバルに事業を展開する企業にとって、国際規格の順守は公平な競争と消費者の安全を守るためにも必須の経営課題です。本セミナーでは、取扱説明書に関する法規や国際規格の要求を理解し、脳科学や認知心理学の知見から”伝わる”情報設計、およびテクニカルライティングの基礎を学びます。社内での取扱説明書の制作体制構築、制作ガイドラインの制定に役立ちます。

第 1 章　取説はなぜわかりにくくなるのか　伝える技術と取扱説明書

1．取扱説明書の役割・・・取説の目的、読み手、３つの視点（法規、顧客、自社）
2．日本における「伝える技術」・・・欧米との違い（文化、教育、言語、技術）
3．読み手中心設計・・・製品の一部、ユーザビリティ、３つの基本機能

第 2 章　取説を作る前にしておくこと　国際規格と制作準備

1．情報をしっかりと収集する・・・段取り８分
2．取説のコンセプトや制作方針を企画する・・・企画 / 方針、表現設計、業務設計
3．取説の記載内容を決定する・・・法的要求、国際規格の要求

第 3 章　読み手はどうやって理解しているのか　認知心理学と脳科学

1．コミュニケーションの原理原則を知ろう・・・コミュニケーションは難しい
2．メンタルモデルとは・・・認知メカニズム、記憶と忘却、脳は騙されやすい
3．メンタルモデルに配慮した情報の出し方・・・情報の整理と構造化のコツ

第 4 章　伝える技術！　伝わる表現　テクニカルライティング

1．テクニカルライティングとは・・・読者思考の文章、国際規格との関係
2．わかる、伝わる、文章の書き方・・・簡潔明瞭、誤解させない、不快にさせない
3．理解を助ける、ビジュアル表現・・・効果 -「動き」「形」「位置」の説明

第 5 章　注意 / 警告文でリスクを低減　リスクアセスメントとリスク低減方策

1．製品安全の国際的な見解・・・機械指令、国際規格、国家規格、リスク分析と評価
2．警告文に対する国際的要求・・・ISO Guide51、ISO Guide37、IEC 82079-1
3．安全に関する法令・・・消費者基本法、働安全衛生法、製造物責任法など
4．危険を伝える、警告文の書き方・・・シグナルワード選択、ANSI Z 535.6、警告内容

▶セミナー料金　取説ホットライン契約で 20% OFF

22 万円／回

・東京駅からの交通費が別途必要です。
・カスタマイズが必要な場合は、別途お見積もりいたします。

お問合せ先
株式会社ダイテック
コミュニケーションデザイン事業部
電話：(03)5256-1733　メール：j.yamaguchi@daitecjp.com

社員研修 中国向け取扱説明書 GB 規格対応セミナー

株式会社ダイテック

通関や抜き打ち検査で不合格になる 日本企業の取扱説明書【標準対応が必須！】

中国で販売される製品は、中国国家標準（GB 規格）の順守が必須です。不合格になると、製造および販売停止、製品没収、かつ違法に製造・販売した製品の価値と同額以上 3 倍以下の過料が科せられます。

▶セミナー概要 - 4 時間＋質疑応答

取扱説明書が中国国家標準（GB 規格）に不合格となり、罰則を受け、公表される日本企業が相次いでいます。このセミナーでは、中国での事業におけるリスク軽減の一環として中国の法律と標準（規格）の関係を学び、使用説明への要求事項に対する理解を促進します。

第 1 章　高度経済発展と消費者の権利意識　発展の歴史からリスクを紐解く

1．つまみ食い、中国経済史・・・発展と消費者トラブル増加、法整備
2．消費者トラブルと訴訟リスク・・・消費者保護日と外国企業たたきの実態

第 2 章　製品表示と GB 規格に関連する法令　使用説明に関係する法律（法令順守）

1．中華人民共和国　産品品質法・・・中国の製造物責任法（品質管理）
2．中華人民共和国　消費者権益保護法・・・中国の製造物責任法（消費者保護）
3．中華人民共和国　権利侵害責任法・・・中国の製造物責任法（懲罰的賠償責任）
4．電子情報製品生産汚染防止管理弁法・・・中国版 RoHs 指令
5．中華人民共和国　国家通用言語文字法・・・使用説明に使用する文字・言語
6．中華人民共和国　工業製品品質責任条例・・・工業製品向け使用説明
7．中華人民共和国　標準化法・・・中国の標準について定めた法律（強制標準）

第 3 章　中国国家標準（GB 規格）　中国の標準を知る（法的効力）

1．GB 規格　中国国家標準とは・・・そもそも GB 規格とな何か？
2．中国における製品検査・・・製品検査の根拠となる強制標準
3．GB 5296 シリーズ　ほか・・・使用説明に関する強制標準

第 4 章　消費者紛争の事例　事例から紐解く中国のリスク

1．中国におけるリスク・・・チャイナリスク
2．中国における消費者紛争の例・・・中国の消費者マインドを知ってリスクを回避

第 5 章　使用説明の国際安全規格と中国対応　使用説明と企業の責任

1．使用説明の国際安全規格・・・使用説明の役割は国際的に重要度を増している
2．中国対応はグローバル対応・・・中国を特別視しないでグローバルな取り組みを！

▶セミナー料金　取説ホットライン契約で 20% OFF

22 万円／回

・東京駅からの交通費が別途必要です。
・カスタマイズが必要な場合は、別途お見積もりいたします。

お問合せ先
株式会社ダイテック
コミュニケーションデザイン事業部
電話：(03)5256-1733　メール：j.yamaguchi@daitecjp.com